



秋田大学は緩和的放射線治療に注力しています

緩和的放射線治療とは

- ① がんによる症状の緩和、
 - ② がんによって起きうる症状の予防、
- を目的とし、患者のQOLを維持・改善する治療です。

適応

骨転移（疼痛緩和、脊髄圧迫の改善、病的骨折の予防など）

骨転移以外の痛みを伴う原発巣・再発巣・転移病巣（リンパ節転移や筋肉転移）の除痛
脳転移、腫瘍出血（消化器癌の出血を含む）、腫瘍による気道・血管・消化管狭窄など
※「がん病巣が原因で生じている症状」の大部分が放射線治療の適応です。

治療スケジュール

当科受診後、数日以内に照射を開始します。症状・病態によっては受診日から開始します。
1日（8Gy単回）～5日間（20Gy/5回）の短期照射を積極的に使用することで、通院負担の軽減や全身治療の遅延防止に取り組んでいます。

病巣の長期制御が必要な場合（長期予後が期待できるなど）は照射期間を延長したり、定位放射線治療などの高精度治療を行う場合もあります。

地域連携（特に、放射線治療設備のない施設からの御紹介）

緩和的放射線治療の御依頼・御相談などお気軽にご連絡ください。

連携室経由経由でも、放射線治療外来に直接ご連絡いただいても対応いたします。

短期照射を積極的に使用していますので数回の通院で治療が可能です。

（最短で1日の通院で治療可能＝午前中に受診していただき、午後に単回照射）

当科の入院病床がありますので、遠方や状態不良の場合は当科入院での治療も可能です。

※緩和的放射線治療の御相談を頂く際には、下記の情報を御教示いただけますと幸いです。

- 原疾患（推定される予後の見立て）
- 全身状態（Performance Status：PS）
- 症状の部位と程度、鎮痛剤等の使用状況（レスキュー薬の有無）
- 最近の画像検査の有無（症状の責任病巣が画像検査で同定可能か）
- 10分程度の安静臥床の可否
- 外来通院の可否（1回～数回）、入院の要否
- 過去の放射線治療歴
- 当日照射（即日照射）の場合、4～5時間の院内待機が可能か

患者様のご紹介・ご相談はお気軽に

秋田大学医学部附属病院 放射線治療科までご連絡ください。
い。

Tel：018-834-1111（内線：

6378）